

二つの世界の始まり

～ 松藤孝一展～

2020.3/25(水)→7/6(月)

会場／妖精の森ガラス美術館2階企画展示室



妖精の森ガラス美術館  
Fairywood Glass Museum



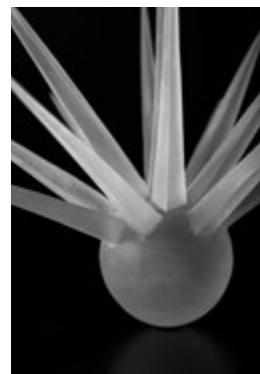
# 二つの世界の始まり ～松藤孝一展～

妖精の森ガラス美術館春期企画展は、ガラス作家 松藤孝一さんの展覧会を開催いたします。

松藤さんは富山県にある「富山ガラス造形研究所」の准教授として後進の指導に当たりながら作家活動をされており、以前から「強い紫外線を当てると光る(蛍光する)」という特徴を持つウランガラスに着目し、海外から取り寄せたウランガラスを使って作品制作をされています。近年では様々なウランガラスのパーツで構成された「光を纏って浮かぶ未来都市」を想起させる作品を発表され、高い評価を得ています。

当美術館の展示では、鏡野町上齋原地域で採掘されたウランをごく微量に着色材として用いた当美術館オリジナルウランガラス「妖精の森ガラス」を使った新作を中心に展示いたします。更に、フィールドワークとして上齋原地域で採集した自然物を使った展示も予定しています。

今回の展示で松藤さんは自身の感じた「上齋原地域とウラン(ガラス)の物語、そこから生まれる光と影、希望や畏怖」のイメージを提示します。松藤さんの作品を通して物事を多角的にとらえることの大切さ、そしてガラス表現の多様性を感じていただければ幸いです。



左側：「世界の終わりの始まり」2019年 [H150×W340×D340 cm] ウランガラス、ギフチョウ(1960～80年代標本)、テーブル、白熱灯  
右側：「矛盾のはじまり」2019年 [H61×W83×D79 cm] ウランガラス铸造



Koichi  
Matsufuji

松藤 孝一

1973年長崎で生まれ、高校まで佐賀で育つ。1995年愛知教育大学卒業後、財団法人ポーラ美術振興財団の在外研修助成により渡米。2001年イリノイ州立大学美術学部修士課程を修了。現在、富山と名古屋を拠点に活動。

### ●近年の主な展覧会

- 2017 「空間造形 2017 美の時空を拓く」(アートハウスおやべ:富山)
- 2018 個展(DiEGO:東京)、「LYRICAL TRANSFORMATIONS」(LEVANT ART:上海)
- 2019 「The Spirit of Toyama Glass」(ジャパン・クリエイティブ・センター:シンガポール)、  
個展(ギャラリー O2:石川)、「ピエンナーレ TOYAMA」(富山県美術館 TAD ギャラリー:富山)、  
「ガラスのある風景」(大一美術館:愛知)、個展(COCONOアートブレイスギャラリー:福井)
- 2020 「第23回岡本太郎現代芸術賞」(川崎市岡本太郎美術館:神奈川)



Fairywood Glass Museum

## 妖精の森ガラス美術館

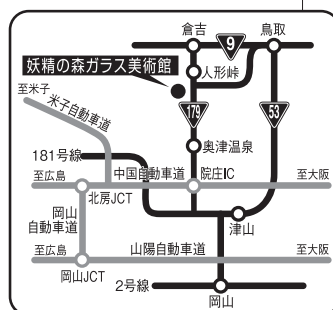
[開館]9:30～17:00(入館は16:30まで)

[休館日]火曜日 ※5/5は開館いたします。

[入館料]

	個人	団体
大人・大学生	500円	400円
高校生	400円	300円
小学・中学生	300円	200円

●団体は20名以上  
●小学生未満無料



岡山県苫田郡鏡野町上齋原666-5  
TEL 0868-44-7888 FAX 0868-44-7889  
<https://fairywood.jp/>